

住民説明会開催のお知らせ

東伊豆町のこども達の未来を拓く 教育環境整備の方向性について

現在、東伊豆町では、新しい教育のあり方として町内の幼・小・中・高が連携、交流をさらに深め、多様性に富んだこども達の関わり合いを重視した、一貫性をもたせた教育について検討を進めているところです。この度、教育環境整備の方向性について、住民説明会を全3回の日程で下記により開催します。町民の皆様、ぜひご参加ください。

記

- 1 日時及び
場所
令和7年4月25日(金) 19:00～ 役場1階大会議室
4月28日(月) 19:00～ 保健福祉センター2階
4月30日(水) 19:00～ 東伊豆町立図書館2階
- 2 参加人員 各回40名程度
- 3 その他 車でのご来場について、保健福祉センターに参加される方は来場者駐車場と隣接した丸井ストアさんの駐車場をご利用ください。

【お問い合わせ先】
教育委員会事務局
学校教育係
TEL: 95-6207

稲取細野高原

Picking wild vegetables

山菜狩り

大地の香りと自然の恵みを満喫!!

ワラビ、ゼンマイ等の山菜が採り放題。

総面積125ヘクタールの内の約90ヘクタール
(東京ドーム19個分)の広大な高原に自生する
山菜は、春の伊豆ならではの味覚です。

海の幸を堪能した後は、山の幸をご家庭の食卓に。

令和7年(2025年)

4/11 (金)

~5/6 (火・休)

伊豆半島ジオパーク

南から来た火山の贈りもの
IZU PENINSULA GEOPARK細野高原
カフェ

山菜狩り期間中、細野高原
にある小屋でコーヒーや
くろもじ茶の飲み物や農産物
の販売をしていますのでぜひ
お立ち寄りください。
(※不定休)

4/27日
ふれあい
動物広場
(仮称)

細野高原
三のぼり

広大な高原の中
大きなこのぼりが
空を泳ぎます。

時間 8:00~15:00(雨天中止)

山菜 ワラビ、ゼンマイ

場所 東伊豆町稲取 細野高原

入山料金 山菜狩り以外の目的(バイク・ハイカー等)であっても園内に入ることに入山料金が
かかります。下記の表の通り

入山料金表	大人 (中学生以上)	小人 (小学生)
一般	500円	200円
(※①) 町内宿泊者(要割引券)	300円	100円
(※②) 東伊豆町民	100円	無料

※小学生未満は無料

稲取細野高原までのアクセス

電車の
場合
伊豆急行線伊豆稲取駅下車
タクシーで約15分(1,800円程度)
徒歩90分(4.5km)
伊豆東海タクシー TEL.0557-95-2730

お車
の場合

国道135号線入谷口または伊豆稲取駅から約15分
カーナビでの行き先設定
静岡県賀茂郡東伊豆町稲取 3150-3

11名以上の一般のバスはすれ違い困難のため入山できませんのでご注意ください!!

(※発育状況によっては山菜が採れない場合もありますので予めご承知ください。)

園内周辺には
公衆電話が
ありませんので
携帯電話を
お持ちください

細野高原第1駐車場(41台)(※バス不可) P 人 車

細野高原第2駐車場(103台)
(※バス不可) P 人 車

お問い合わせ

(一社)東伊豆町観光協会
TEL. 0557-95-0700
URL <https://www.e-izu.org>

主催：稲取地区特別財産運営委員会

協力：(一社)東伊豆町観光協会



稲取細野高原

秋のすすき観賞会

~まだ見ぬ絶景海すすき 黄金の海原~

令和7年11月~12月(予定)

予告 秋には!!

稲取細野高原に広大なすすき野原や相模灘・伊豆
諸島を一望できる絶景ポイントがたくさん。一見の
価値あり!まだ見ぬ絶景・海すすきをご堪能ください。

2025年 4月~6月 令和7年 春季 東伊豆町 レジャーマップ

町内イベント、味覚狩り等が
楽しめる見処をご紹介!!

味覚狩り

12月中旬~5月上旬 いちご狩り

- 9:00~状況次第で終了
●ストロベリーファーム太田農園
●いちごらんど中西
●樋の口園 ●ストロベリー金指園

1月上旬~6月下旬 オレンジ狩り

- 9:00~16:00
●樋の口園 ●収穫体験農園ふたつぼり

主なイベント

4月5日(土)

12:00~21:00
春色食夜市
(熱川花はなばあ〜)

4月5日(土)~5月31日(土)

9:00~16:00(木曜定休)
雛のつるし飾り展示
(文化公園雛の館)

4月11日(金)~5月6日(火・休)

8:00~15:00
山菜狩り
(稲取細野高原)

4月25日(金)~5月6日(火・休)

温泉こいのぼり
(伊豆熱川駅前)

4月13日(日)・5月13日(火)・6月11日(水)

15:30~17:00
北川温泉ねこさいの日
(北川漁港)

5月23日(金)~29日(木)

19:30~21:00
ほたる観賞会
(奈良本けやき公園)

5月30日(金)~6月8日(日)

19:30~21:00
ほたる観賞の夕べ
(大川竹ヶ沢公園)

6月8日(日)

伊豆稲取キンメラソン
(クロスカントリーコース他)



山菜狩り
(稲取細野高原)

花(桜)の見頃

3月下旬 ~ 4月上旬

熱川桜坂公園

稲取高原桜回廊



(一社) 東伊豆町観光協会

TEL 0557-95-0700

URL <https://www.e-izu.org>



春の全国交通安全運動

令和7年4月6日(日)～4月15日(火)の10日間

<運動の重点>

- 1 こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる
道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶や
シートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時の
ヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底
- 4 歩行者・運転者の交通ルールの遵守と正しい
交通マナーの実践の徹底



子供の急な飛び出しなどに注意



新年度に入り、通学・通園に不慣れな子供が多く道路を利用します。子供を見かけた時には、急な飛び出しなどを予測し、減速や間隔をあけるなどして、子供たちを交通事故から守りましょう。

下田警察署・交通安全協会下田地区支部・東伊豆町・下田地区安全運転管理協会

「静岡県交通安全指導員」の募集 詳細は交通安全協会下田地区支部 0558-23-6156 へお問い合わせください。

令和7年度

5月15日(木)スタート

受講生募集中

食と健康を楽しく学びませんか？

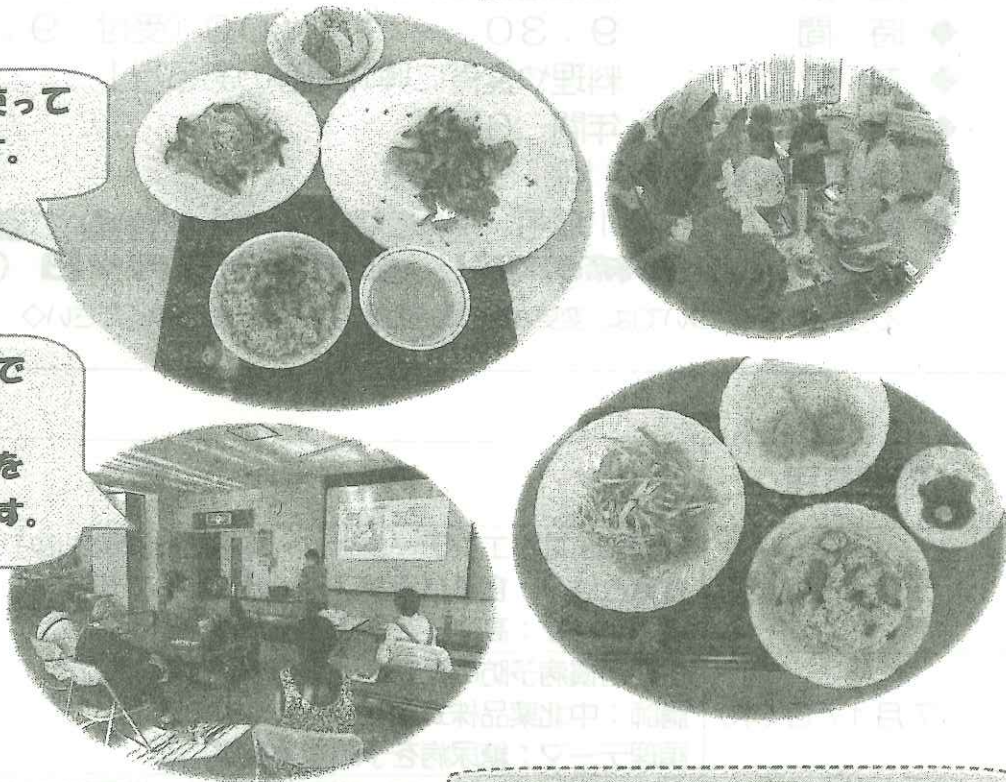
- ✓ 料理や食育に興味がある方
- ✓ 食事で健診結果を改善したい方
- ✓ ご自身やご家族の健康管理が気になる方
- ✓ ご夫婦で！お友達と一緒に！参加しませんか？



食育セミナー開催のおしらせ

地域の旬の食材を使って
調理実習を行います。

テーマに沿った内容で
毎回学習します。
健康づくりのヒントを
楽しく学べる教室です。

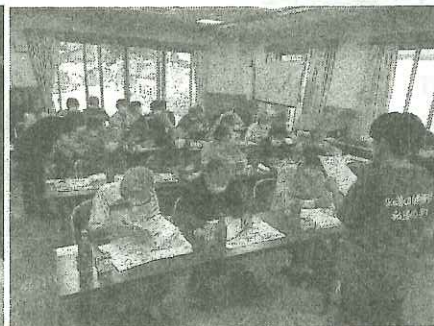


私達と一緒に楽しく活動しましょう！

食推さんの活動紹介

会員は30代から80代まで幅広く在籍し、幼稚園や学校など地域のさまざまな場所で活躍しています。子供から高齢者までたくさんの方とふれあい、活動しませんか？

ご夫婦での参加や、男性の方も是非ご参加下さい。



【申し込み・問い合わせ先】

東伊豆町保健福祉センター 電話0557-22-2300

修了後は、地域で食育を推進するボランティアとして活動します。
食について学び、楽しくいきいきと活動しましょう。詳しくは、裏面を！

令和7年度

食育セミナー参加者募集

～食生活推進員養成講座～

健康づくりに必要な知識や技術を仲間と一緒に学びます。
楽しく学び、地域でも健康づくりの輪を広げていきましょう。

- ◆ 場 所 保健福祉センター 1階 研修調理室
- ◆ 時 間 9:30 ～ 13:00 (受付 9:00～)
- ◆ 対 象 料理や食育に興味関心のある方!
- ◆ 回 数 年間 6回
- ◆ 参加費(材料費) 1回 300円
- ◆ 募集人数 10名 **※先着順になります!お早めにご連絡下さい。**

初回申し込み締め切り 令和7年5月9日(金)

◇◇開催内容については、変更がある場合がありますのでご了承ください◇◇

開催日程	内 容
5月15日(木)	開講式・オリエンテーション・食生活推進員とは① 食育とは?・食事バランスガイドについて知ろう 調理テーマ:高血圧を予防する食事
7月17日(木)	生活習慣病予防の概要と予防のポイント 講師:中北薬品株式会社 調理テーマ:糖尿病を予防する食事
9月 3日(水)	健康日本21について、災害時の備え・備蓄について知ろう 調理テーマ:ポリ袋を使った防災食づくり
11月19日(水)	身体活動と運動について 調理テーマ:フレイル予防のための食事を知ろう
1月15日(木)	食中毒予防について 栄養成分表示の活用について 講師:賀茂健康福祉センター衛生薬務課 調理テーマ:脂質異常症を予防する食事
3月 6日(金)	閉講式(修了証交付)・食生活推進員とは② 地域の食で笑顔を広げよう～ふるさとの食の伝承～ 調理テーマ:郷土料理

★持ち物:エプロン・三角巾・筆記用具・参加費300円

※修了証を3月6日(金)にお渡しします

※途中からの参加も可能です。下記連絡先へご連絡ください。(各開催日の3日前までにご連絡をお願いします。)

[申し込み・問い合わせ先]

保健福祉センター 電話0557-22-2300

2025 年 度 障害のある人のための 就 労 相 談 会

日時：毎月第3火曜日 10:00~12:00

場所：東伊豆町役場

4/15	5/20	6/17	7/15
8/19	9/16	10/21	11/18
12/16	1/20	2/17	3/17

障害のある人の就職・生活面での相談

障害者手帳をお持ちでない方の相談にも応じます

障害のある人たちを雇用する事業主の方の相談

これから雇用を検討している事業所の方の相談も

- ・ 仕事を探している ・ 経済的に不安がある
- ・ 職場の人間関係がうまくいかない ・ 引きこもりがちになっている
- ・ 福祉制度のことについて ・ 障害者手帳について知りたい など…

お問い合わせ
連絡先

賀茂障害者就業・生活支援センター わ

〒415-0035 下田市東本郷 1-7-21

TEL/FAX 0558-22-5715 E-mail: fusent@cy.tnc.ne.jp



コミュニティ しずおか

2025

4 月

No.178



Topics トピックス

おおちば 大知波桜の郷を目指して

大知波桜を守る会（湖西市）

▼湖西市大知波地区の大神山八幡宮に咲く「大知波桜」は、例年1月下旬に開花を始める市内で一番早く咲く桜。「大知波桜を守る会」は、地元の有志が中心となって2015年に発足し、現在41人で桜を愛護する心を地域に広め、保護と育成に取り組んでいる。

▼原木から苗木を増やし市内外に植樹をしてきた。10年間で増やした大知波桜は251本。「多くの人に知ってもらい、地域の誇りにしていきたい」と寺脇代表。大知波地区が桜で有名になるよう地域振興に貢献していく。

◇代表：寺脇精二さん（問合せ・090-4184-8294）

【情報提供・片山愛司】

クローズアップ P2～3
伝統とスポーツの融合（富士市）

地域訪問記 P6
コツコツと地域の防災力を高めていこう！（函南町）



のりづき・りえ

コミック



創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



左：チェックポイントで証拠写真撮影する親子 右上：スタートする参加者 右下：3度目の正直で優勝した柳島区消防隊

伝統とスポーツの融合：田子浦かるたロゲイニング

富士市

田子浦かるたロゲイニング実行委員会

ユニークな住民参加のスポーツを実施しているまちづくり協議会（以下「まち協」）があるとの情報を得て、田子浦まちづくりセンターを訪ねました。令和4年度から始まったロゲイニング（地図をもとに時間内にチェックポイントを回り得点を集めるスポーツ）と地域かるたを融合させた「田子浦かるたロゲイニング」について、まち協の柿並会長、実行委員会の幾見委員長、センター勤務の西村上席主事からお話を聞きました。

イベントを始めた経緯

田子浦港の西側に広がる田子の浦地区は、人口15,000人（6,500世帯）が住む住宅と工場が混在している地区。コロナ禍でマラソン大会が中止され5類移行後も参加者が戻らないことから、まち協ではこれから何をしたら良いかを考えました。

少人数で参加でき、多世代が楽しめるロゲイニングに、地区の歴史や伝統を感じる場所56ヵ所を選出し当時の小学6年生に絵を描いてもらって令和元年に制作した「田子浦かるた56」を組み合わせ、身体を動かし

ながら自分の地域についてもっと知ってもらえるスポーツイベントに決まりました。

競技としての田子浦かるたロゲイニング

1チームは3人～5人で編成し、家族や友人同士で子どもから高齢者まで参加できます。「かるた」の中から選出された30ヵ所のチェックポイントマップを片手に、各ポイントを訪れた証拠写真を撮りながら、2時間以内に回ります。「遠い場所の得点が高いとは限りません」ニヤリとする幾見さん。「巡る順番や経路、時間配分、チームワークが大切な競技です」と西村さん。各ポイントの得点はゴールしてからでないといけないので、より多く回るチームが有利です。

3回目となる今年は3月2日に開催し40チーム151人が参加。23ヵ所を回った「柳島区消防隊」チームが「97点」で優勝。上位3チームには田子浦産のお米3キロを人数分贈呈されました。最下位は制限時間を8分オーバーし「-160点」となってしまった中学生チーム。もっと地域を知ろうね！と「田子浦かるた56」が贈呈されました。

実行委員会

気になる運営費は、まち協の行う健康づくり事業の予算が充てられています。実行委員会はまち協のスタッフが兼務し13人。当日は、田子浦地区16自治会の各区長等このイベントを安全に実施する為に総勢40人が動いています。証拠写真の撮影や得点の集計は、参加者を信じてお任せにすることでスタッフの人数や負担を軽減。最後の抽選会は、支える側も楽しい気持ちで終われるようスタッフも参加できるようにした。そんなアイデアを出す幾見さんは、1週間前から何回かに分けて全てのチェックポイントを周り、当日配布するチェックポイントマップと違いが無い確認。大変な努力をされています。

これから

マラソン大会は他地区からの参加者が多かったのですが、地区在住・在勤の方のみを対象にしたロゲイニングの方が地区への貢献度が高いと感じているそうです。「田子浦の魅力が再発見できた」「地域のことを



かるたは松林版とみなと版の2種類ある

知る良い機会になりました」「楽しく運動不足が解消出来てうれしい」等参加者のアンケート結果からも新たな発見をしつつ仲間との交流を楽しんでいることがわかり、まち協の狙いが達成できています。

参加者のレベルが上がって来たので今後はチェックポイントの地図表記を無くすとか、クイズを追加するなどを考えているとお話でした。地域の新しい発見をしながら健康増進にもなるという一石二鳥のイベントは、随所に工夫が見られ、他の地区でも大いに参考になるスポーツイベントだと納得がいった取材でした。



左から、西村さん、柿並会長、幾見実行委員長

◇実行委員長：幾見和宏さん
(問合せ・0545-63-5209(田子浦まちづくりセンター))
【情報提供・齋藤立己】



まち協HP



Instagram

レポート：峰野 勇 編集委員

伊豆の国市 地域がつながる公民館

山の学習スペース
「やまっこ」



▼大仁駅から車で15分の山間に56世帯が住む田原野地区がある。令和6年7月、公民館の建て替えをきっかけに地域の保護者が立ち上がり子どもたちの居場所「やまっこ」が開設された。田原野地区と浮橋地区の小、中、高生を対象に、毎週月曜日の放課後10人近い子どもたちが宿題やボードゲーム等をして過ごしている。
▼子ども会会長でもある代表の西島さんは、昼間の使用頻度が低い公民館を、放課後や長期休みの子どもの居場所として、有効活用できないか?と思いつき区長へ相談。地域の理解と協力を得て、子ども会と育成会と連携しながら活動をしている。
▼また、地域の大人と子どもの交流の場として地域がつながる公民館を目指していることから、昨年12月には、やまっこの子どもたちがサンタになり高齢者宅を訪問。手紙等のプレゼントを渡し喜ばれた。「他の地区でも公民館を活用したこんな居場所が広がると嬉しいです」と西島さんは語る。
◇代表:西島ゆかりさん

【情報提供・柴田三智子】

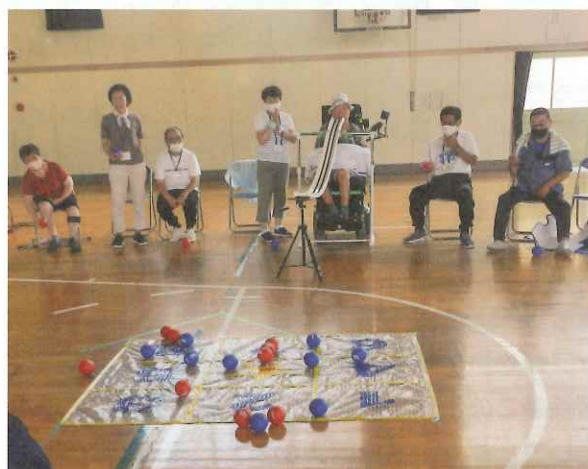
クリスマスイベントで高齢者宅を訪問する子どもたち

静岡市 障がい者と輪になって

長田東社会福祉協議会レクスポ部

▼駿河区にある長田東社会福祉協議会では、障がい者の方が気軽にスポーツを楽しみながら地域社会と繋がり交流を図れるよう、毎月第2木曜日と日曜日の午後に、長田東小学校や長田保健福祉センターで、ポッチャやフライングディスクを行っている。
▼2000年頃から「レクスポ障がい者スポーツ」という市民活動としてフライングディスクを行っていたが、社協関係者がスタッフに加わったことで、2019年に社協の部会として認めてもらい、安定して活動ができるようになった。
▼現在スタッフは12人。障がいのレベルに合わせた道具の工夫や、ポッチャにビンゴゲームを加えた遊びを考案するなど熱心に活動している。日によってはスタッフが足りない等の課題があり、この活動をPRしていく必要があると思っている。障がい者の方と親御さん、そしてスタッフのみなで輪になって賑やかに声を出し合い「地域で支える福祉社会」を目指していく。
◇レクスポ部長:望月秀一さん

【情報提供・吉田敏明】



オリジナルポッチャで盛りあがる参加者

島田市 定年後の居場所をつくり健康で明るく暮らす

居場所「ちゃのみ」



コントラバスと電子ピアノの生演奏で合唱練習

▼川根地区家山の野守の池の湖畔にある西向集会所は、毎週金曜日になると9時から始まるサロン活動「ちゃのみ」を楽しみに高齢者がやって来る。軽体操で体をほぐした後は、合唱や折り紙アート、脳トレ、数少ない男性参加者は真剣な顔つきで麻雀パイを動かしている。対象者は「自分で会場に来れる人」で毎回15人前後が参加している。
▼65歳の定年を前に、定年後の自分の居場所について考えた代表の西村さんは同級生3人で相談し、健康で明るく暮らす人生を送るような仲間づくりを目的に2016年に活動をスタート。現在、スタッフは7人で、皆さん特技を生かし講師としても活躍をしている。
▼「アルミ缶を回収し活動資金に充てています」と代表。地域の理解を得て、開催日になると住民からアルミ缶が届くという。売却収入を社協の補助金にプラスして、サロンは参加費無料で開催できているとのこと。住民からの応援にとても感謝している。
◇代表:西村純一さん(問合せ・090-4164-7029)

【情報提供・池田 弘】

掛川市 倉真地区の宝 クマガイソウ

倉真クマガイソウ保存会



クマガイソウの手入れをする会員

▼掛川市倉真地区には、独特な花の形をしたクマガイソウが自生している。絶滅危惧種に指定されているクマガイソウは、滅多に見られないことから是非一度見てみたいという声が多く聞かれていた。そのような中、容易に見られる自生地を見つけたことから令和5年に地元有志で保存会を発足し、一般公開に踏み切った。同会は、自生地の保護、繁殖に取り組んでいる。
▼周囲からは、盗掘を心配して反対意見もあったが、是非見てみたいという多くの声を聴き、公開を決断した。マスコミの協力により県内外から多くの見学者が訪れている。こうした見学者にゆっくり楽しんでいただくこと、昨年の夏に2か月間かけて休憩所を設けた。
▼みなさんから「初めて見る事ができた」「来年も楽しみにしています」などと声をかけられ「この活動をしてよかった。みなさんに、より楽しんでいただくために、さらに株を増やしていきたい」と佐藤代表は抱負を語った。
今年も開花時期の4月には昨年以上に多くの見学者が訪れることでしょう。
◇代表:佐藤典雄さん(問合せ・080-5131-0232)

【情報提供・加藤和男】

森町 ダウン症児の家族の集い

ノエルの会

▼2014年に発足したダウン症児を持つ家族が集うノエルの会は、子育てに悩む親たちの情報交換や子ども親ものびのび過ごせる場づくりを目的に活動しており、中遠地域の38組の家族が会を通じて繋がっている。
▼きっかけは、代表の森重さんのお孫さんがダウン症で生まれたこと。当初は月1回の交流だったが、子どもの成長と共に運営側も参加者も生活スタイルが変化したことで現在は2〜3ヶ月に1回活動している。年に1回、障がいの有無に関係なく誰もが楽しめる「リコリコふれんどパーク」を森町大門東公園で開催。毎年600人程が参加し、今では子どもたちが帰りがたらないイベントになった。
▼「公園で遊ぶことを躊躇しているご家族がいる。その現実を知り公園での開催にこだわっています」と森重さん。現在は森重さんと娘さんが中心となっているが、この会を継続していくためにも参加者自らが企画運営に携われるように発展していくことを目指していく。
◇代表:森重美智子さん(問合せ・090-7617-5531)

【情報提供・山田勝恵】



定例会で思い切り遊ぶ親子

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)

No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	情報通信員
1	松崎町	ウォーキングでつながろう	松崎歩こう会	ウォーキングを生きたスポーツとして実践し、自然と親しみ史跡を訪れ、より心豊かで健康な生活を求める	土屋武彦
2	牧之原市	勝間田城跡見学ツアーと限定御城印販売下案市	牧之原御城印製作委員会	勝間田城の魅力を発信するために御城印を制作販売	武田てるみ
3	牧之原市	令和6年度全国あしたのまち・くらしづくり活動賞 振興奨励賞受賞	勝間田区絆づくり事業	勝間田を元気にする活動をする	武田てるみ
4	掛川市	小さな始まりで人の輪が広がる仲見世	中幼稚園跡地を活用する会	園舎を活用して「仲見世」を開き活用し多くの区民が世代間交流と地域活性化を目指す	安藤ミエ
5	磐田市	遊びを通じて普段の日常生活の中では体験できない体験をする	みんなでうさぎ山を楽しむ会	児童の発達によりよい環境を与えるための各種事業を推進	安部詠司
6	磐田市	福田コットンプロジェクト	遠江福田懇談会 福田コットンプロジェクト	「歴史を学び綿から糸へそして布へ」の工程を土から体験する機会を設ける	安部詠司
7	菊川市	アートコラール 10周年記念交流会	NPO法人アートコラールきくがわ	「出会いとつながりをデザイン」をモットーに活動する中間支援団体	鈴木貴司

地域訪問記

長く続いている団体を紹介します。



2019年の
台風19号で
ボランティアの受け入れを
行っている様子



大人と一緒に
養成講座を
受講する高校生



左から
鎌野さん
田中さん
奈良さん

コツコツと地域の防災力を高めていこう！

災害ボランティアネットワーク函南（函南町）

伊豆半島の玄関口にある函南町は、2019年10月の台風19号で大きな被害を受けました。この時、活躍したのが「災害ボランティアネットワーク函南」の皆さんです。会長の奈良さん、副会長の田中さん、会計担当の鎌野さんに活動の様子やそれぞれの思いを聞きました。

「災害ボランティアネットワーク函南」はどんな団体？

災害時に町と連携し、災害ボランティア本部の開設とボランティアコーディネーターとして運営の中核を担う団体です。1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに前身団体が発足し、2004年に函南町の地域防災計画に現在の団体名が明記されました。

会員は町社協と共催する「災害ボランティアコーディネーター養成講座」の修了生からなり、現在37人で約8割が男性。平均年齢はおよそ60歳。年会費は1,000円（保険代含む）で、毎月1回の定例会の他、養成講座の準備、総合防災訓練への参加、イベントでの啓発活動等を行っています。

台風19号での始動

発災当初、2地区での浸水被害を聞いた奈良さんは、救済申請書を持って区長を訪ね町内会に配ってもらったと言います。ボランティア本部が立ち上がると、町社協のスタッフと一緒にボランティアの受け入れと派遣に取組みました。鎌野さんは自宅が床上浸水し、ボランティアが来て片付けが始まりとても助かったと言います。近所の方から「助けてもらうのにお金はかかるの？」と質問されたと言いつつ「自分たちの活動や自分の体験を伝えることが大事ですね」と話します。「ニーズに合ったボランティアを派遣する余裕が無く、目の前の要望にただ派遣するしかできなかった」と田中さん。2

週間で250人のボランティア（町内100人、町外150人）をコーディネートし活動は終わりました。

今できることをコツコツと続ける

函南町民向けに「私たちの町に災害が起こったら…」というチラシを作成し、イベント時に配布しています。表面には災害ボランティアの組織図や依頼・支援方法の説明が書かれ、裏面は「ボランティア依頼ニーズ受け付けカード」になっていて被災したらすぐに提出できるようにしました。

また、定例会の「タウンウォッチング」では、防災の視点で町内を歩き、普段使わない迂回路などを地図に記録し備えています。

地域の防災力を高めていこう！

21年間の活動で、町や社協に自分たちの思いを伝え連携の強化につながってきました。協定も結ばれ自分たちの活動が安心してできるようになりました。「大規模災害の時には町外からの災害ボランティアの支援は期待できません。町民同士、隣近所で助け合っていくしかないのです。町全体の意識の底上げのために養成講座を受けて欲しいですね」と奈良さんは語ります。

皆さんに団体のこれからについてお聞きすると、満場一致で「ぜひ若い人にも仲間になってほしい」との声が上がりました。養成講座は大人に混ざって高校生も受講しています。修了生の若者が一緒に活動してくれる日を会員の皆さんは楽しみにしています。

◇会長：奈良直人さん（問合せ・090-7024-5735）

【情報提供・太田輝彦】

レポート：矢野さちこ 編集委員

コミュニティ・フォーラム2025を開催しました

迫りくる大災害！そのときコミュニティは！？

～地域防災と超高齢社会における共助を考える～



当協議会では、県民の地域コミュニティ活動に対する機運を盛り上げ、全県的に推進していくため、毎年、「コミュニティ・フォーラム」を開催しています。本年度は2月15日（土）に磐田市のワークピア磐田で開催しました。防災がテーマだったことから磐田市を中心に防災に携わる方の参加が多くみられ、県内各地から186人の参加がありました。このフォーラムの様子は、YouTubeにてご覧いただけます。



令和6年度コミュニティ活動賞 表彰

優秀賞3団体、優良賞5団体が表彰されました。優秀賞の団体は、事例発表で、活動紹介をしていただきました。



パネルディスカッション

当協議会推進専門委員の伊藤先生がコーディネーターとなり、富士市西宮島区の廣瀬区長、復興ボランティアやらざあ駿河の藤澤共同代表、コミカレ・ねっとわーくの安部会長から、超高齢社会における共助のあり方を含め地域の防災力を高めるヒントになるお話を引き出していただきました。



基調講演

跡見学園女子大学 鍵屋 一教授
「いつか来るその日に備えて」と
題しご講演いただきました。

能登半島震災義援金のご協力ありがとうございました！
参加者のお気持ち5500円を静岡県社会福祉協議会へ寄付いたしました



←当協議会
YouTube
ちゃんねる



常務のつ・ぶ・や・き

近年、自治会や子ども会離れが進んでいるようだが、いざという時のために“ご近所の絆”は維持しておきたい。フォーラムで鍵屋先生は「日常から地域の人たちと良好な関係を築いておくことは、誰一人取り残さない魅力ある地域社会につながり、災害や危機にも強くなる」と話された。年度替わりで環境が変化することの多いこの時期、時間に余裕のできた方は、ご近所の皆さんと様々な活動を通じて一緒に過ごす時間を作ってみてはいかが。

うまく活動情報が得られなければ、当協議会のホームページを見たり、ご相談を。是非、隣近所で声を掛け合う住みよい地域づくりを進めて、心豊かで安全・安心な生活を送りましょう。

私、白井もこの春、環境に変化があり、今回は最後の“つぶやき”です。3年間、ありがとうございました。

コミン家



地域情報をお寄せ下さい!!

静岡県コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856

静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階

[TEL] 054-251-3585

[FAX] 054-250-8681

[URL] <http://www.sizcom.jp>

[E-mail] sizcom0829@po.across.or.jp

峰野勇さん、矢野さちこさん両編集委員は、この号をもって退任されます。2年間ありがとうございました。

地域活動に関心のある方へ!

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

活動資金の一部を助成します!

★コミュニティ活動集団育成事業

趣 旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域のコミュニティ活動における先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

指 定 の 期 間 毎年度4月から次年度3月までの2年間とします。

活動経費の助成 募集集団数10集団。活動経費として1集団当たり、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。

活動集団の指定 申込みに対してその内容を審査し、指定します。

募 集 期 間 4月中旬～6月中旬



指定決定した団体には、より良い活動となるよう専門委員からのアドバイスが受けられます。

余裕をもってお申し込みください



【静岡県からのお知らせ】

WEB広告をきっかけとする消費者トラブルにご注意ください!



県民生活課です。社会のデジタル化に伴い、WEB広告やSNSをきっかけとする消費者トラブルが、全ての世代で増加しています!

そこで静岡県では、県内の学生と協働で消費者被害防止啓発動画『ちょっと待った! やばみちゃんファミリー』を制作しました。2分程度の短い動画で、消費者トラブルに遭わないためのポイントをご確認いただけます。是非ご覧ください♪

啓発動画はこちら

▼偽サイト編



▼投資トラブル編



▼定期購入トラブル編



下田地区保護司会会報



題字 永田文明

河津町梨本 蛇滝（へびだる）

保護司の活動に寄せて

下田市長 松本 正一郎



紛争、貧困、飢餓や差別、等々。

21世紀の地球の上で、今この瞬間にも悲しい出来事が起こり、誰かが声にならない声をあげています。

「ぼくがラーメンたべるとき」という色彩豊かな絵本（長谷川義史さん作）があります。最初のページでは、「ぼく」がおうちでラーメンを食べていて、「そのとき、隣でミケがあくびした」と書かれています。ソファに猫が寝そべっているのかな絵です。

ページをめくると、「ミケがあくびしているとき、隣の家のみっちゃんもチャネルかえた」とあります。みっちゃんは畳に寝そべって楽しそうです。またページをめくると、そのまた隣の家のたいちゃんがシャワートイレのボタンを押している。そのとき、そのまた隣の女の子が、とページをめくると、子どもたちの楽しそうで穏やかな日常のシーンが続きます。

やがて物語はよその国に移り、どこかの国で女の子が赤ちゃんをおんぶしています。そのまた向こうの国では共同井戸で女の子が水汲みしていたりと、厳しい社会環境の下で働いている子どもたちが描かれていて、最後のほうで、殺風景な町はずれで男の子が倒れている絵になります。一人で路傍に横たわっている。そこにはこう書かれています。

「そのまた山の向こうの国で男の子が倒れていた」。

次のページは、夕焼けの絵で、「風がふいている」と書かれ、その次のページは、倒れたまま動かない少年（死んだまま放置されている）を夕闇が包む、胸に迫る光景です。

物語は最後に「ぼく」の家の前ののかなシーンに戻り、そこに風がふいて、カーテンが揺れています。

初めて読んだとき、こんなすごい絵本があるんだ、と衝撃でした。

人権。国が違うだけでこんなに格差がある。私たちは想像力をもっている人々の様々な苦しみ思いを寄せることが大切なのだと思います。

犯罪を犯した人に寄り添い、その更生を助ける保護司さんの活動は、受容性や思いやりのある社会づくりに大きく寄与されています。しかし、それには、本当に大変なご苦労があると思います。そんな皆様に心から敬意を表します。

第74回 社会を明るくする運動作文コンテスト

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱する犯罪をなくして、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について正しい理解を深める活動です。立ち直ろうと努力する人たちの受入れ見守り、ともに努力をして安心な明るい地域社会を作るための運動です。

その中の「作文コンテスト」は本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としており、令和6年度の「作文コンテスト」には下田地区保護司会（一市三町）の小学生、中学生あわせて575名の応募がありました。その中から、最優秀賞、小・中学校各四点、優秀賞小学校七点、中学校六つずつ選出し、県に推薦しました。その結果「社会を明るくする運動」静岡県推進委員会委員長賞（県知事賞）の最優秀賞と特別賞・静岡県校長会会長賞の二点もの栄誉ある賞をいただきました。この二つの作品を紹介させていただきます。

この「作文コンテスト」にご支援をいただいた教育委員会や学校関係者の皆様に感謝を申し上げます。

静岡県推進委員会委員長賞（県知事賞）小学生の部

「助け合いの大切さ」

下田市立浜崎小学校六年 中野 敬太



みなさんは「アリとキリギリス」知っていますか？

冬になるまでに食事をたくわえていたアリと、たくわえずに遊んで暮らしていたキリギリスのお話です。この物語には二つの結末があります。

一つ目はキリギリスが冬をこせない結末・・・もう一つは、アリがキリギリスを助けて、温かいアリの巣まで連れていく結末です。もし、あなたが物語のアリになったとしたら、食事をたくわえずに過ごしたキリギリスに、救いの手を差し伸べることができでしょうか？

ぼくにはこんな経験があります。二年生の時に「かけ算」が始まって、みんなが次々に九九を覚えていく中で、ぼくはなかなか覚えられずにいました。自分が覚えられないだけに、「覚えなければいけない理由がわからない。」とまで思っ、そのままにしていまいました。すると担任の先生は、

静岡県校長会会長賞 小学生の部

ひとりぼっちにさせないで

下田市立稲穂小学校六年 鈴木 穂香



「えっ！どうして？」

わたしは、ニュースを見ながら思わず大きな声を上げてしまった。それは、アメリカ前大統領が集会の演説中に銃撃されたという話だった。ニュースの内容に耳をかたむけると、犯人は、大学生だった。まじめで努力家な性格で、成績優秀者にも選ばれるほど優秀だったらしい。わたしは、（こんなにすごい人がどうして犯罪を犯してしまったんだろう？）と思い、何かきっかけがあったのではないかと考えて調べてみた。すると、犯人は重度のうつ病を抱えていたと知った。うつ病について検索してみると「まるで太陽の光が差しこまない深い海の底のような誰にも見えず理解されにくい心の病である。」と書かれていた。わたしは、この言葉を讀んだだけで、とても辛い病気なんだと分かって苦しい気持ちになった。周囲の人にも理解されず、そのまま亡くなってしまいう方もいると知った。（ひとりぼっちは、いやだな。）

わたしは、もし自分がそうならどうしたらいいのだろう。悲しみや苦しみを一人で乗り越えることができるだろうか。きっと犯人の大学生には、支えてくれる人がいなかったのではないだろうか。もちろん犯罪を犯すことはよくない選択だ。でも、もし誰かが深い海の底に手を差し伸べてくれたら、きっとちがう未来が待っていたんじゃないかと思っ。そんな人が社会にたくさんいたら、世の中から犯罪がもつと減るかもしれない。でも、誰が手を差し伸べるんだろう？

家族、友人、先生、誰がその役割をするのだろう。わたしは、今、『家族

もせず、「一緒に覚えよう。」と、毎日放課後の時間を使って、また一から教えてくれた。今、ぼくは六年生になって九九を覚えなければいけなかった理由がわかります。そして、あの時、投げやりだったぼくに寄りそってくれた先生のやさしさに、心から感謝しています。ぼくの両親は、介護の仕事をしています。介護の「介」の字には「助ける」という意味があるそうです。年をとり不自由になつたことを助け合い、これまで通りに明るく笑い、その人らしく、みんなと共に生きるのが介護です。ぼくは両親の働くグループホームで、おじいさん、おばあさんからたくさんのお話を聞かせてもらいました。オセロだったり、昔の歌だったり、戦争の体験を聞かせてもらいました。もあります。おじいさん、おばあさんたちが、がんばって今のぼくがあるなら、ぼくは助けたいです。

更生について考える時、ぼくはこの助け合いの気持ちを思い浮かべます。人をききつけた人、ききつけられた人、ニュースで見るとたびにどきどきしませんが、「一緒に覚えよう。」と、毎日放課後の時間を使つて、また一から葉につまる気持ちがあります。ですが、かけ算九九でとまどうぼくに先生が寄りそってくれたように、罪をおかしてしまつても反省して、もう一度いっしょうけんめいにやり直そうとする人がいるならその気持ちを応援する、助ける人たちがいてほしいと思います。寄りそってくれる人がいてほしいと思います。

「アリとキリギリス」の結末、ぼくはアリがキリギリスを助ける結末が好きです。加えて言うなら、キリギリスがアリに感謝して、反対にアリが困った時、助ける続きがあたりすぎだと思います。「キリギリスさん。もういい。あなたはあなたのことをしてください。」

「アリさん。こっちこそ、こんなことを言うのはもうやめてください。あなたがあのときに助けてくれたじゃないですか。今度はぼくの番です。」

助けられた人が、今度はだれかを助け、感謝が感謝を呼ぶ・・・そのようにめぐっていく助け合いの気持ちは、きっと社会を明るくするはず。ぼくももっとたくさん勉強して、いつかその助け合いの輪で力をはつきできるようにがんばりたいと思います。

と一緒に生活しているけど、いつかは家を出る日があると思う。『そして、誰に助けを求めればいいのか。きつとそばにいた「誰か」が、それをできるかどうか大事なんだと思う。それは、友達かもしれないし、もしかしたら名前も知らない地域の人かもしれない。でも、誰かが誰かの支えになることができたなら、きつと犯罪という選択をする人は少なくなると思う。わたしにとって、そんな人を見つかることも大切だけど、わたし自身も誰かにとって支えとなるような人になりたいと思つた。ひとりぼっちにせず、一緒に寄りそう心が深い海の底にいる人を明るく照らす太陽になれると思う。

総会および研修会開催

令和6年5月2日下田市民文化会館において総会が開催された。

矢田部泰子会長より、多様化する問題に対応するべく喫緊の課題と、それに対する対処について懇切丁寧な説明と、我々の責務の重大さについて挨拶があった。

また各研修会においては保護司会各会員、熱心にかつ自発的に意見を交わしていた。様々な経験をされているかたの貴重な経験談を聞くことが出来て、講義とあわせて今後の保護司活動に役立つ研修会となった。



研修会「特殊詐欺にあわないために」



矢田部泰子会長

下田地区更生保護女性会



更生保護女性会は、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現のために、女性の立場、目線から犯罪予防の活動や更生支援活動などを行うボランティア団体です。



冠講座
野呂 美佐恵先生による
保育前実習研修



駿府学園 交流会



少年の家 奉仕活動



南伊豆町 梅を使っておにぎり作り



下田支部 子育て支援



東伊豆支部
サッカーボール作り

更生保護女性会は一人ひとりが人として尊重され、だれもが心豊かに生きられる社会を目標に女性の持つ温かさや細やかさを活かした活動をしています。我々の活動を通して人とのつながり、地域の絆を深める一助になれば幸いです。皆様のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。



下田地区全体研修
澤城 勲生老師による講話
(下田市 宝徳院において)



河津町
梅干し作り

令和6年度 視察研修



千葉刑務所前



刑務作業で制作された製品を手に取る



日蓮上人生誕の地・小湊誕生寺

10月29日～30日の日程で総勢23名で千葉刑務所を研修で訪問しました。
初日に訪れた千葉刑務所では刑務所内での生活、更生のための指導・教育など、普段知ることのできない貴重な話を刑務官のかたから聞くことができました。
想像していたイメージと違い、厳正な規律を守った生活をして、よく清掃され整然とした部屋で過ごされていました。
受刑者の高齢化、外国人、様々な問題が増加するなか、受刑者の健康に留意し再犯させないようにと努力する刑務官の皆様の姿に感銘を受けました。
また、刑務作業で作られた革製品の品質の高さに驚かされました。丁寧に心を込めて作られたものであると一目見て分かる逸品ばかりでした。その心と技術をこれから先の生活にも役立てたいと思いました。
二日目は日蓮上人生誕の小湊誕生寺などを巡り、参加者同士の親睦を深めることができ有意義な時間を過ごすことが出来ました。
これからの保護司活動に活かしていきたいと思いました。

青少年と保護司活動・ミニ集会

下田地区保護司会では、保護司や更生保護に対する理解を深めるための活動として、地域内の中学校においてミニ集会を実施しています。

本年は河津中学校にご協力をいただき、1年生全員を対象に開催しました。集会には保護司10名も参加しました。

河津支部、竹内保護司が「自己理解・怒りの対処など」をテーマに授業・進行を行いました。生徒たちはグループで話し合い発表を行い活発に議論を交わし有意義な授業になりました。

参加した生徒からの感想を紹介します。

◎犯罪を犯した人が社会に戻ってふつうの人と同じ生活ができるような世界になるといいなと思った。それを助ける人があるということも知って、人と人が手をつないでいくのが良いと思った。

◎立ち直るためには、その人自身が反省すること、そして周りの人や地域の人がそれを受け入れることが大切だと分かった。

若い世代の彼らがとてもしっかりした考えを持っていることをミニ集会を通じて知ることができました。これからも学校と保護司会が連携して子供たちのためにより良い社会を作ろうと思いました。



令和6年度 静岡県更生保護大会

令和6年11月29日、浜松市、サーラ音楽ホールにおいて顕彰式典および記念講演が開催されました。表彰状および感謝状が更生保護関係者に伝達され、更生保護に対する社会の期待の大きさを感じると共に、多くの個人や団体からの御支援と御理解に応えるべく誠心誠意、保護司の活動に尽力する決意を新たにしました。

令和6年度 静岡県更生保護顕彰者 紹介

◎法務大臣感謝状

松濤 瑞枝

◎日本更生保護女性連盟会長表彰

永田 京子

◎関東地方更生保護委員会委員長表彰

竹河 十九巳、西尾 清、増田 興世

◎関東地方保護司連盟会長表彰

大川 富久、山岸 徹

◎静岡県保護観察所長表彰

森本 美歌

◎静岡県保護観察所長感謝状

垂井 伶子、佐藤 洋子

◎民間篤志家、協力雇用主

海善寺、株式会社 栄協、本覚寺

◎静岡県保護司連合会長表彰

有澤 政文、土屋 紀元、原 和秀



落語家元刑事「にか奴亭三助」さんによる防犯落語



法務大臣感謝状を受ける松濤瑞枝
更生保護女性会員



サーラ音楽ホールにて



表彰を受ける下田地区更生
保護女性会永田京子会長



民間篤志家・協力雇用主表彰
株式会社栄協 廣瀬拓人代表

人と人を繋げる街頭活動



稲生沢小学校にて声かけ運動



河津駅にて社明運動



蓮台寺駅にて社明運動



下田高校にて少年補導

社明運動を通して地域の安心・安全のために保護司および更生保護女性会は見守り活動を行っています。
知っている大人が近くにいる。
子供たちの味方でありつづける。
子供たちの社会性を育み、共感性のある人間になるように支えられればと活動しています。

伊豆海

発行 令和7年3月
発行所 下田地区保護司会会長
事務局 下田市福祉事務所
印刷所 すぎのこ作業所

連絡先 矢田部 泰子
下田市加増野376番4号
0558・28・0123